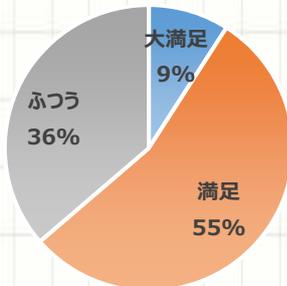




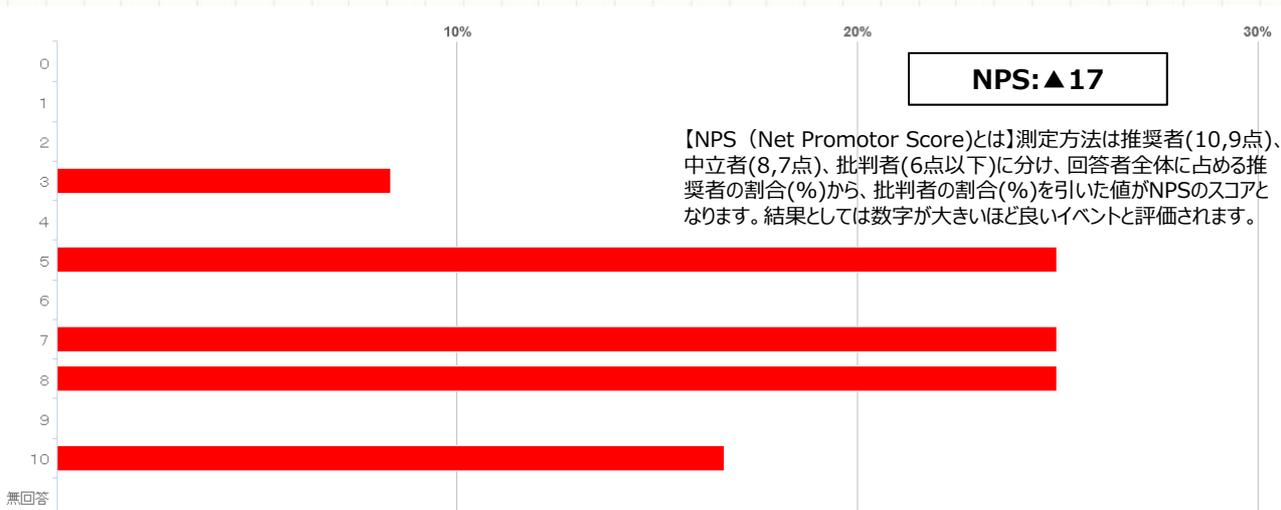
### 3. アンケート結果について

#### ■ 本日の「プログラム内容」について満足度をお選びください



- ✓ システム部門の話を聞いた
- ✓ 思ったより盛り上がりがあったように思います。もっと話す時間あってもよかったですね。  
ブレイクアウトセッションの有効利用できるとよいですね。
- ✓ 他大学さんの事例や具体例を伺うことができ参考になった。会員の皆さんの様子やお顔を伺えて、何だか安心した。
- ✓ プログラム内容は、大学の現状を踏まえた関心の高い内容であったと思います。しかし、「システム部門」との文言があったためか、幅広く集客できなかったのは残念でした。  
会の中でも意見がありましたが、参加しやすい実施時間帯も検討する必要があるように思いました。
- ✓ コロナ過での対策についてはどの大学でも興味のある内容だと思います。
- ✓ 他大学の状況や課題を共有できたこと

#### ■ 今回の座談会を、どのくらい他の人に推奨したいとおもいますか？ 0(おすすめしない) ~10(おすすめしたい)



#### ■ 上記の理由を具体的にお書きください

- ✓ もう少し多くの大学の事例を聞きたかった
- ✓ 他大学の様子をうかがうことができるため
- ✓ 他大学の方と、情報交換できる場として期待しています。
- ✓ 議論まで至らなかった点で、今の形ではおすすめができませんと感じました。
- ✓ コロナ禍において、他大学の皆様と同じ課題を持って情報共有ができる唯一の機会であるため
- ✓ 内容が想像し難いので、参加してみないとわからないから。
- ✓ 他大学の状況を知る機会となるため。

■ 本日の座談会を実施して、開催テーマに対して得られた研究成果(疑問や課題等含めて)をお書きください。

- ✓ ヘルプセンターはMOS講座の会社でもできる
- ✓ 学外の方をヘルプデスクとして活用できていることがわかり参考になりました。
- ✓ 同じ問題や課題等を抱えていることを共有できました。これらの解決事例や対応方法等まで話せばよかったです。
- ✓ 他大学でも本学同様に悩んでいること、大学によって対策はまちまちであること
- ✓ 後期授業について、悩まれていることはみな同じだと思いました。

■ 次回以降取り上げて欲しいテーマがあれば教えてください

- ✓ 職員、教員、学生のITリテラシー向上でやっていること
- ✓ 秋学期以降の体制について
- ✓ 演習授業ってどうしてますか。
- ✓ 秋学期以降の各大学さんの今後の方針良いとこどりして皆さんで共有できると良いかもしれません。
- ✓ オンラインファーストにおける新しい大学における情報環境の在り方とかに関して、各大学で考えられている方向性等。
- ✓ アフターコロナにおける取り組み（ハイブリッド授業用システムの構築等）
- ✓ オンライン授業と対面授業を同時に実施するハイブリッド型の授業に対するサポートについて

#### 4. 参加校 [15校19名] ・参加企業[7社30名] ・参加総数[49名]

愛知学院大学[1] 大阪府立大学[1] 学校法人 常翔学園[1] 京都産業大学[2] 共立女子大学[1] 工学院大学[2] 神戸学院[1]	産業能率大学[1] 昭和女子大学[1] 摂南大学[1] 専修大学[2] 東京都市大学[2] 東京農業大学[1] 明治大学[1] 流通経済大学[1]	アルテリア・ネットワークス株式会社[2] エデュケーションITサービス株式会社[1] シトリックスシステムズジャパン株式会社[1]	トレンドマイクロ株式会社[2] 株式会社富士通エフサス[1] 株式会社富士通パーソナルズ[1] 富士通株式会社[22]
---	--	---	--

#### 5. 所感

コロナ禍における各大学の取り組みを共有できるということで関心が高く、大学関係者19名（IS研からの参加もあり）、企業も含めると約50名の方が参加されました。

座談会は摂南大学様の発表を軸に進行され、なかでも「サポート体制整備の難しさ」や「サーバ高負荷に対する資源追加の課題」については、多くの大学でも同じ状況でした。やはり遠隔教育を前提としたシステム構成ではないため、今ある資源を工夫しながら凌いでいる大学が多い様です。また、必要な機材も物によっては調達が難しい状況であり、直近のシステム整備ですらどうしたら良いかという心配の声もありました。

同じ悩みや事例の共有に至ることができ、大いに参考になりましたが、課題解決に向けた深堀や議論、またCS研の特徴であるリアルな情報交流（ぶっちゃけトーク）があまりできなかったのが、次回以降の運営改善に期待したいと思います。

ともあれ、各大学や富士通様はじめ賛助会員の方々のお顔やご様子を伺えて何だかホッとしつつも、また会員の皆様と研鑽していければという前向きな気持ちになりました。

【システム運用管理分科会 運営委員】